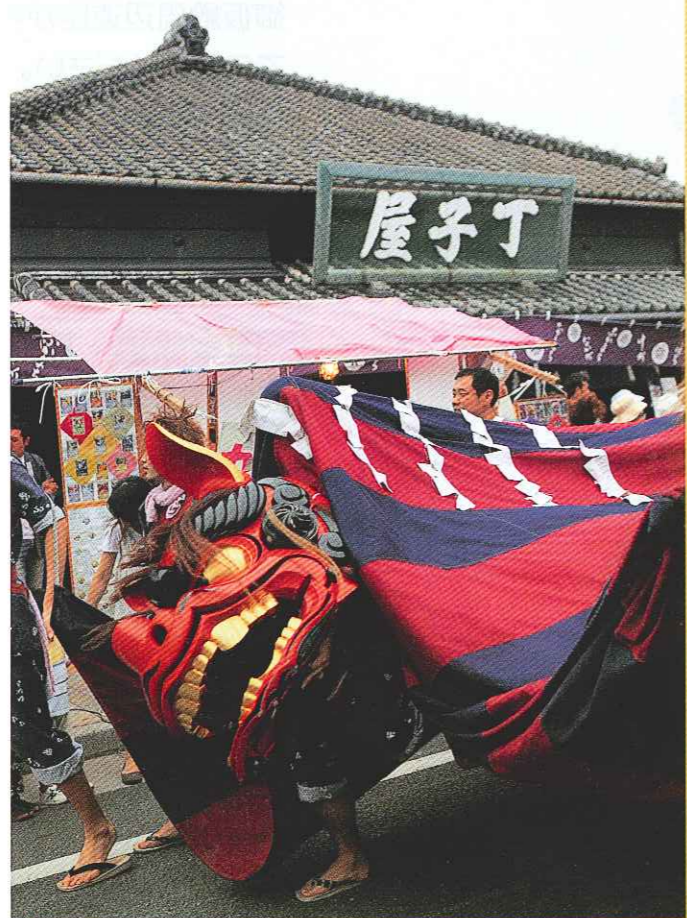


平成22年 常陸國總社宮大祭

# 石岡のおまつり

9月18日・19日・20日



平成21年度 いしおかフォトコンテストおまつり部門 優秀賞「老舗前」

「石岡のおまつり」は正式には「常陸國總社宮大祭」といい、天下泰平、国家安穩、萬民豊樂、五穀豊穰等を願う格式の高いおまつりです。「関東三大祭り」の一つとも言われており、格式ある神輿をはじめとして、絢爛豪華な山車や勇壮な幌獅子など40数台が市中心部を巡行します。おまつり期間中の三日間で40万人を超える見物客が訪れます。

## 石岡のおまつり (常陸國總社宮大祭)

（ひたちのくにそらしやぐうたいさい）

### 神幸祭 [9月18日]

總社宮の御神体が神輿にて年番町大小路町の御仮殿へ渡御します。

總社宮本殿に各町内の氏子代表が参集して、発輿祭が行われます。午後2時、花火を合図に神輿の渡御となり、供奉行列を組んで年番町の御仮殿へ向かいます。

### 大祭 [9月19日]

午前11時から總社宮境内では茨城県高等学校相撲選手権大会(奉納相撲)が行われ、神樂殿では浦安の舞と染谷十二座神樂が奉納されます。

午後3時から幌獅子のパレード、午後7時から山車のパレードが行われます。



### 還幸祭 [9月20日]

午後2時、年番町大小路町の御仮殿より神輿が出御し、神幸祭と同じ供奉行列にて本殿へ還御します。

各町の出し物は、各自の町内を廻りながら所定の位置に整列し、神輿の還御を待ちます。神輿が本殿に着御すると、還幸祭神事、年番町の引き継ぎが行われます。

## おまつり 一口メモ



### 年番制度

石岡のおまつりは、1年交代による年番町を中心に行われます。この制度は、明治35年(1902)に確立しました。

年番町は、おまつり終了時から次の年番町に引き継ぐまでの1年間、神社への奉仕に努めます。年番に加盟している15町内が、各年ごとに交代でその年のおまつりの年番となり、年番町には御仮殿が設けられます。

今年の年番町は、大小路町です。

### 神輿

明治30年9月9日石岡市青木町の棟梁小井戸彦五郎によって制作され、平成9年9月9日栃木県石橋町神輿師小川政次によって修復されました。

### ささら

格式高く「7度半の迎えをうけて出る」と言われ、神輿の露祓いの先頭に立ちます。神社札・稲穂・榊等を飾り、紺地に八咫烏を染めぬいた幕を張った屋台で、異様な顔の3匹の獅子が操られながら舞う姿は独特の雰囲気があります。總社宮・御仮殿などでは、屋台の外での舞が奉納されます。

3匹の獅子は、老獅子・若獅子・女獅子と呼ばれています。獅子頭は全体に黒漆が塗られ、目・歯に金箔が施され、咽喉部は軍鶏の羽で覆われており、老獅子・若獅子には特異な太く長い角がついています。

### 幌獅子

車輪を付けた車体の上に小屋を作り、布の幌(胴幕)をかけます。幌の色は通常2色で、各町独自の色を使います。この先端に獅子頭を付け、1人でかぶり持ち、舞いながら進みます。獅子頭の大きさは各町によって異なりますが、およそ幅50~60cm、重

さは20kg前後です。小屋(標準の大きさで幅2m・奥行5m・高さ2.5m)の中には囃子連が乗り、大太鼓・小太鼓・笛・鉦で奏します。曲は単純ですが勇壮なものです。

小屋を付けた幌獅子は全国でもめずらしいもので、石岡のおまつり特有のもので

### 山車

屋根のない2層または3層建てで、1層が勾欄と呼ばれる手すりを巡らせた舞台になっています。石岡囃子に合わせ、面を付け衣装を着た踊り手が、様々な仕草を演じます。

上層には、各町独自の2mもある人形が飾られています。隣には低い電線や伸びた樹木から人形を守るために刺股を持った人が乗り、人形守とも呼ばれています。

台座には、直径40cm~50cmの四輪と長さ30m以上の曳綱が付けられ、祭衣装の子どもたちによって曳かれます。

### 石岡囃子

囃子連は15人程度で編成されます。

おまつりの朝に青年、子どもたちが集まり「さんぎり」という曲を始めると山車の出発です。「さんぎり」は、山車の出発時と帰着時に奏し、踊りはありません。その他の曲は、おかめ(四丁目)・ひょっとこ(仁羽)・きつね(新馬鹿)とあり、大太鼓(長胴)1・小太鼓(メ太鼓)2・笛1・鉦1によって奏され、面を付けた踊り手によって面白おかしく踊られます。

おかめは、静かな曲でゆっくり踊られます。

ひょっとこは、滑稽な仕草で見物客を笑わせます。曲もリズムカルで、面も「大笑」・「一文字」・「べろ出し」等があります。

きつねは、テンポの速い曲で「切返し」と称し、大切り・中切り・乱拍子と変化に富んでいます。当然踊りも勇壮で2匹、3匹と出てくることもあります。



# 石岡のおまつり 交通規制のお知らせ

平成22年 9月18日(土)・19日(日)・20日(祝)

交通規制内容		
	歩行者用道路 車輛は通行できません	規制時間 9月18日 13:00~21:30 19日 13:00~21:30 20日 13:00~21:30
	大型車通行止	規制時間 9月18日 13:00~21:30 19日 13:00~21:30 20日 13:00~21:30
	バス・タクシーのみ通行可	
	駐車場	
	公衆用トイレ	



期間中ゴミの持ち帰りにご協力を

石岡のおまつり振興協議会・石岡市  
石岡警察署・石岡地区交通安全協会  
祭礼本部 ☎0299-24-5441

飲んだら乗るな!! 乗るなら飲むな!!

ノーマイカーにご協力を!  
駐車場および道路の渋滞緩和に公共交通をご利用ください。

- ※18日と20日の行列巡行の際は総社宮と御仮殿周辺道路が特に混み合いますのでご協力ください。
- ※18日 神幸祭行列 総社宮出発 14:00
- ※20日 還幸祭行列 御仮殿出発 14:00

## 石岡駅発着バスルートのご案内

### 関東鉄道・関鉄グリーンバス

おまつり期間中(3日間)のバスルートは、次のようになります。

- ◎路線バス
  - ・土浦駅行/志筑経由柿岡車庫行 [8:30~最終便まで]  
交通規制地域内を迂回し、国道6号経由
  - ・高浜駅経由鉢田駅行 [8:30~最終便まで]  
貝地寺前から石岡駅へ
  - ・林経由柿岡車庫行 [8:30~最終便まで]  
交通規制地域内を迂回し、国道6号・355号バイパス道路経由
- ・その他の路線は、通常通りの運行です。
- ◎午前8時30分から最終まで迂回路に①から③の仮停留所を設置します。
  - ①貝地寺前 ②国府六丁目
  - ③宮下町

